

科目名 Course Name	レクリエーションアクティビティー I Recreation Activity I				ナンバリング No.	I1-013	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	柿沼 友岐						
連絡方法	C-Learning で対応。又は非常勤講師室						
必修／選択	選択(レクリエーションインストラクター資格申請に必要な科目)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	対象者に合わせたレクリエーションの知識や技術の方法について、実技を通して体験する。 ①レクリエーションの楽しさを体験し、支援者としてのレクリエーション技術を身に付ける。 ②レクリエーションの意義をしっかりと理解し、その必要性について、説明できる。 ③レクリエーション活動のプログラムを立案し、展開することができる。						
授業の方法	理論の説明以外にもコミュニケーションワークやグループワークを多く取り入れて学習する。特にレクリエーション種目や活動などの体験をしながら、実技指導やロールプレイを取り入れる。また、ふりかえりシートを配布し、授業で感じたこと や、学んだこと、気づいたことなどを記入する。						
学習成果	L01	目的や対象に合わせたレクリエーション活動の知識や、技術の方法(CSSプロセス)を身につける。					
	L02	レクリエーションを通して、コミュニケーション力を身につける。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	レクリエーション実技については、授業内で随時フィードバックをおこなう。						
教科書／ 参考図書	日本レクリエーション協会 『楽しさをとおした心の元気づくり』～レクリエーション支援の理論と方法～						
履修上の留意点 やルール等	●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 ●授業時にふさわしい態度を自ら考え、他人の迷惑になることは控える。 実技が多いため、服装や身だしなみに注意すること。体育館で行う際は食べ物禁止						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	必要な時はテキストへのマーキングやノートへの記入をし、大切なことを把握しようと努力する姿が見られる。実技には前向きに参加しようとする姿勢が感じられる。	30					
レポート／作品	振り返りシートに記入されている内容を評価。	10					
発表	アクティビティを選択し、展開する。支援案も含めて評価。		60				
小テスト							
試験							
その他							
合 計		40	60				

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 授業の評価、進め方など
	事前・事後学習	レクリエーションとは何かについて、ワークシートにまとめる。
2	授業内容	良好な集団づくりの方法① アイスブレイキングモデルとは
	事前・事後学習	アイスブレイキングとは何かについて、ワークシートにまとめる。
3	授業内容	良好な集団づくりの方法② アイスブレイキングの効果を高める支援技術
	事前・事後学習	アイスブレイキングモデルの表に記入する。
4	授業内容	信頼関係づくりの方法① ホスピタリティ
	事前・事後学習	ホスピタリティとは何かについて、ワークシートにまとめる。
5	授業内容	信頼関係づくりの方法② 気持ちをひとつにするコミュニケーション技術
	事前・事後学習	ホスピタリティの大切さを振り返り、記入する。
6	授業内容	レクリエーション活動の展開法① ハードル設定
	事前・事後学習	今まで行ったアクティビティの、それぞれのハードル設定を確認しておく。
7	授業内容	レクリエーション活動の展開法② アレンジ
	事前・事後学習	演習でおこなったアレンジの方法を記入する。
8	授業内容	レクリエーション活動の展開方法③ CSSプロセス
	事前・事後学習	CSSプロセスの予測をワークシートにまとめる。
9	授業内容	レクリエーション支援の方法のまとめ
	事前・事後学習	様々な技術の再確認したい箇所を挙げておく。
10	授業内容	レクリエーション支援のプログラム① プログラムの立案
	事前・事後学習	レクリエーションプログラムを立案する。
11	授業内容	レクリエーション支援のプログラム② プログラムの加筆・修正 発表の練習
	事前・事後学習	レクリエーションプログラムを修正する。
12	授業内容	レクリエーション支援の実施① 立案したプログラムを用いたレクリエーション支援の試行
	事前・事後学習	他者や自分がおこなったレクリエーションプログラムについて振り返りを記入する。
13	授業内容	レクリエーション支援の実施② 立案したプログラムを用いたレクリエーション支援の試行
	事前・事後学習	他者や自分がおこなったレクリエーションプログラムについて振り返りを記入する。
14	授業内容	レクリエーション支援の実施③ 立案したプログラムを用いたレクリエーション支援の試行
	事前・事後学習	他者や自分がおこなったレクリエーションプログラムについて振り返りを記入する。
15	授業内容	レクリエーション支援の実施④ レクリエーション活動の支援者として、対象者として、それぞれの立場からより良いレクリエーション支援を考える。
	事前・事後学習	現場で活かせるよう、様々な技術を確認しておく。